

中学校区におけるめざす子ども像 豊かな心を持ち、自分の良さを知り、人とつながり協働する子	堺市立 南八下中 学校 校長 石山 陽
---	------------------------

令和6年度 重点目標 1..挨拶が響き渡り みんなが仲良く過ごせる学校に ～生徒の良さを認める教育活動の展開～ 2..健やかな心と体をつくりしっかり学べる学校に ～『学び考える楽しさを実感できる授業』の実践～ 3..タブレット・生徒用端末の活用 掃除が行き届いた学校に ～『業務の効率化』『学びの環境の整備』～
--

確かな学びの現状 学校全体では、生徒は穏やかであり、概ね静謐な教育環境が維持できている。そしてここ数年は、大阪府チャレンジテストにおいても、一定の水準が保たれている。また各家庭での学習に対する関心が高く、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただいていることも、落ち着いたある学校生活につながっている。しかし、家庭での学習習慣や読書習慣の定着については、学校アンケートからは肯定的な回答が低い傾向となっている。今後、より良い教育環境の充実のために、ICT活用授業の効果的な活用方法の確立と展開に取り組んで、未来を担う子どもたちの育成を図ることが重要である。 今年度は、これまでの取り組みをもとにして、より自ら学びに向かう姿勢の育成をすすめていく。	豊かな心・健やかな体の現状 教科指導や部活動、委員会活動、そして体育大会や合唱コンクールなどの様々な行事や取り組みを通して、「豊かな心・健やかな体」を育む教育活動を進めることができている。 子どもたちの心身の状況をしっかりと見極めながら、全国体力・運動能力、運動習慣調査において、体力合計点を府平均点、全国平均点を目標に向上させたい。
---	---

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)			
								自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	ICT機器の積極的な活用	教師用タブレット、生徒用パソコンを積極的に活用した授業展開及び校内研修の充実。小中連携した教育活動の推進となるよう系統的に実践。	・授業観察により確認 ・活用アンケート等の分析 ・積極的な研修(自己研修含む)	授業観察 実践報告	毎学期 年度末					
		主体的・対話的で深い学びの実現 (『学び考える楽しさを実感できる授業』の実践)	教師からの積極的問いかけや、班毎の意見交換、発表の場を設定した、考えて議論する問題解決学習的な授業展開。	・授業観察により確認 ・「授業が分かりやすい」の肯定的回答が85%以上。	授業観察 生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末					
	学力向上	基本的な知識・技能の定着及び教科 学力向上	少人数指導を効果的に展開する学習支援。	・授業観察により確認 ・「少人数授業や習熟度別授業はわかりやすい」の肯定的回答が85%以上。	授業観察 記録簿 生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末					
		家庭での学習習慣の確立	●学習に対する興味関心を高める工夫や、学習状況に応じた適切な課題の作成。 ★ICTスキルの指導及び活用場面の設定。	「自分の学力向上のため、家庭での学習時間を増やしたりしている」の肯定的回答が85%以上。	保護者学校教育アンケート	毎学期 年度末					
豊かな心・健やかな体	心の教育の充実	道徳授業の実践	●年間計画に基づく22分野の確実な実施。 ・日常生活の様々な場面、状況において、道徳的価値を実践することができるような内面的資質を育む授業。	・授業観察により実施状況確認。 ・「道徳では、心に残る内容の授業がある」の肯定的回答が80%以上。	授業観察 生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末					
		読書習慣の定着	・できるだけ多く、昼休みの図書室の開室を実施する ・教科指導や学級活動、生徒会活動を通して、読書習慣の定着に全校で取り組む。	「普段、1日30分以上読書をしている」の肯定的回答が50%以上。	生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末					
		いじめ防止基本法に基づくいじめの根絶	●“積極的認知”によって、いじめの未然防止、早期発見・解決に取り組む。いじめアンケートや教育相談を適切に実施する。 ★仲間づくり、集団作り等学級活動の充実。	「先生はいじめや問題行動に真剣に対応している」肯定的回答が80%以上。	生徒学校教育アンケート	毎学期 年度末					
	体力向上	体力向上及び健康の保持増進	保健体育授業、部活動での鍛錬により体力向上を図る。生涯を通じてスポーツに親しみ、健康を保持・増進できるよう意識付けを行う。	体力合計点で全国平均点を上回る。	全国体力・運動能力、運動習慣調査	毎学期 年度末					
信頼される学校	小中	小中9年間の児童・生徒の成長を図る小中連携の推進	★小中連携の年間計画に基づく実践 ・小中授業交流、小中合同研修 ・児童生徒の学習や部活動交流 など	実施状況。	実践報告	毎学期 年度末					
	適切な情報発信	保護者や地域に対して、学校運営・教育活動を適切に発信することで、「開かれた学校」「信頼される学校」づくりを推進	・学校ホームページ更新、学校だよりや学年だより発行を通して学校情報を保護者・地域に発信する。 ・開かれた学校に向けて、授業参観・オープンスクール及び各行事で保護者が来校する機会を設ける。	「学校の様子や学習内容を懇談や各種の通信、ホームページ等で知ることができる」の肯定的回答が85%以上。	保護者学校教育アンケート	毎学期 年度末					

校長より(年度末)	学校関係者評価者から(年度末)
-----------	-----------------